



《朝倉山五月》1990年 長野県信濃美術館蔵

Akito Shinohara

篠原昭登展

八ヶ岳山麓に生きる

2015年7月25日[土]—8月30日[日] 茅野市美術館

10:00—18:00 (7月25日は10:30から開展式を開催し、終了後に開場)

休館日: 毎週火曜日 観覧料: 一般500円(300円) 高校生以下は無料 ※ ()内は20名以上の団体料金。※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料。

主催: 茅野市美術館 協力: 篠原昭登展を支援する会、NPO法人サポートC 美遊com.

後援: 長野県、長野県教育委員会、茅野市、茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、諏訪市教育委員会、下諏訪町教育委員会、富士見町教育委員会、原村教育委員会、諏訪教育会、信州美術会、諏訪美術会、茅野市美術協会、岡谷市美術会、諏訪市美術会、下諏訪美術会、富士見美術会、長野一水協、南信研水会、一水十日会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ(7紙)、長野エフエム放送、エルシーブイ株式会社、月刊ぶらざ、JR東日本 長野支社、諏訪地方観光連盟、茅野商工会議所、信州諏訪農業協同組合

Chino Cultural Complex
Chino City
Museum
of Art
ccc 10th Anniversary

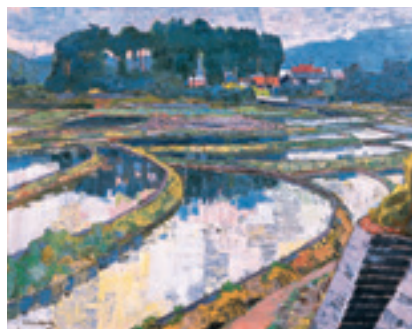
篠原昭登展

八ヶ岳山麓に生きる

2015年に開館35周年を迎える茅野市美術館では、茅野市出身の洋画家・篠原昭登(1927-)の展覧会を開催します。1927年、茅野市に生まれた篠原昭登は、諏訪中学校(現諏訪清陵高等学校)卒業後に上京。東京第三師範学校(現東京学芸大学)美術科を卒業し、その後、洋画家・田崎廣助(1898-1984、日本芸術院会員)に師事します。1952年に一水会展初入選、1968年に一水会会員推挙(1977年に委員、1999年に常任委員、2014年に運営委員)、1958年に日展初入選、1990年と1994年に日展特選、2005年に日展会員推挙、そして現在も一水会と日展を中心に作品を発表しています。その出品作の7割以上は自身の生まれ育った八ヶ岳山麓を取材しています。本展では、初期作品から、霧ヶ峰や、萱ぶき屋根の山村、曲がりくねった棚田など失われつつある地域の風景、里山、草原を描いた作品までを展示します。これらの作品群を通して、風土の変遷と美をみつめ続ける篠原昭登の画業を振り返ります。



1.《わら屋根と小川》1977年 茅野市八ヶ岳総合博物館蔵



2.《山麓初夏》1992年 茅野市美術館蔵



5.《西野川河岸段丘》2001年 作家蔵



3.《霧ヶ峰高原(八島)》1966年 茅野市立湖東小学校蔵



4.《草原の丘・六月》2012年 作家蔵

茅野市美術館
地域をみつめるプロジェクト《紡ぐ》

篠原昭登展
八ヶ岳山麓に生きる
関連イベント

1 | 作家による ギャラリートーク

話し手=篠原昭登(洋画家)
日時=8月1日[土] 14:00開始
会場=茅野市美術館
料金=無料(要展覧会チケット)

2 | 美術を語る「篠原昭登」

ゲスト=篠原昭登(洋画家)
作家としての歩みをお話いただけます。
日時=8月29日[土] 14:00開始
会場=茅野市美術館
料金=無料(要展覧会チケット)

3 | きてみて！ ギャラリートゥアー

ガイド=茅野市美術館サポーター、学芸員
お話しをしながら、ガイドと一緒に展示作品をめぐるります。
日時=7月26日[日] 11:00開始
8月23日[日] 14:00開始
会場=茅野市美術館
参加費=無料(要展覧会チケット)

4 | きてみて！ 親子ギャラリートゥアー

ガイド=茅野市美術館サポーター、学芸員
親子を対象としたギャラリートゥアーです。ガイドと一緒に話しながら、楽しく作品を鑑賞しましょう。
日時=8月9日[日] 14:00開始
会場=茅野市美術館
参加費=無料(対象は小中学生とその保護者。保護者の方は1名無料。会場入口に5分前に集合。)

5 | 学芸員による ギャラリートーク

日時=8月16日[日] 11:00開始
8月22日[土] 14:00開始
会場=茅野市美術館
参加費=無料(要展覧会チケット)

6 | 「好きな風景を描こう」 作品募集

募集期間=7月25日[土]—8月30日[日]
好きな風景を描いてみよう。篠原昭登展に来場した子ども(中学生以下)を対象に用紙を配布します。子どもたちが描いた絵は展覧会の会期中、茅野市民館ロビー、スロープに展示します。

